

## 日本語を母語としない生徒サポートプログラム

生浜高校三部制の定時制では、日本語を母語としない生徒を対象にした、入学から卒業まで母語と日本語のケアを継続的に行うプログラムを行っています。母語を活用し自己肯定感を高めながら、日本語の習得を目指します。プログラムの5つのポイントを紹介します。

### 1. 日本語基礎

本校では、日本語を母語としない、フィリピン、中国、バングラデッシュ、ネパール、ジャマイカ出身の生徒がいます。その生徒が少しでも日本語に慣れ、少しでも不自由なく学校生活を送れるよう、「**日本語基礎**」という2単位の選択講座が開講されています。専門の講師の先生と本校職員によるチームティーチング形式、単位を取得できる千葉県で唯一の日本語講座です。**日本語も生徒の母語も大切にするというコンセプト**。普通に数カ国の言語が飛び交う中、生徒がお互に通じる言語を選び、**互いに教え合いながら**、日本語の授業が進んでいきます。時に母語で言いたいことを思い切り書いてもらうこともあります。「日本語はまだ上手ではないけれど、母語では深い内容も自由に表現できるんだ」という**自己肯定感**を大切にします。



本校では、日本語を母

### 3. 日本語能力検定単位化

日本語能力検定 N 2

以上を取得すると、単位に振り替えることができます。これにより**日本語を学ぶ動機付け**が一層に確固たるものになります。日本語基礎の授業と連動させ卒業までに日本語能力検定 N1 取得を目指します。

### 4. 母語による母国紹介

毎年10月に開催さ

れる定通総合文化大会や自校で開催される文化祭で、日本語基礎を受講している生徒全員がステージに立ち、母語による**母国文化紹介の発表**を行っています。ジャマイカ、フィリピン、中国、ネパールの歴史・文化について、主に母語を用い、日本語での説明を加えながら発表を行います。また母国の歌や踊りを披露します。**母語を大事にして自己肯定感を維持することが目的**です。クラスメイトにとっても、日本語を勉強中の生徒が、母語を流暢に話す姿を見て、その生徒が**バイリンガル・トリリンガル**であることを知るよい機会になり、生徒同士の理解が深まります。



### 2. アドバンスト英語 I, II

ネイティブスピーカーと同等の英語運用能力を思う存分発揮できる、英語運用中心のハイレベルな専用講座「**アドバンスト英語 I, II**」を開講し、母語を大切にすることで自己肯定感を絶やさないう対応します。ALTの先生と日本人の教師によるチームティーチング形式で授業が進められ、4領域での高度な英語運用能力を育成します。**討論やディベート**も積極的に行っています。英語が自由に飛び交い驚くほどエネルギッシュに展開していく対話形式の授業は、まるでアメリカンスクールにいるかのよう。自己肯定感の維持と、**英語検定1級**を目指した英語運用力向上を図ります。



ネイティブヴ

### 5. 同胞の先輩が後輩をサポート

ALTの先生や日本

語基礎の先生がいらっしゃる生徒棟4階にある部屋を、水曜日のみ外国につながる生徒達の憩いの場として解放します。この場を利用し、昨年度「日本語基礎」を受講した生徒達が**チューター**となり、今年度入学してきた同胞の後輩達に、**日本語勉強の仕方のコツや学校生活全般**の面倒を見ます。国や年次を超えて生徒達が支え合う、自然発生的なインターナショナルな場として有効活用できたらと考えています。